



- 10<sup>th</sup> International Conference on Trends in Welding Research & 9<sup>th</sup> International Welding Symposium of Japan Welding Society (9WS)
- 会員専用ページ「マイページ」の開設について
- 一般社団法人溶接学会第 84 回通常総会並びに平成 28 年度春季全国大会開催通知
- 平成 28 年度溶接学会春季全国大会シンポジウムのご案内
- 溶接学会全国大会講演概要のデジタル化のお知らせ
- 平成 28 年度春季全国大会講演概要の頒布について
- 平成 28 年度秋季全国大会「研究発表」講演募集
- 平成 28 年度秋季全国大会ポスター発表募集
- 溶接学会全国大会講演分類
- 全国大会講演概要原稿執筆要領
- Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting
- 全国大会講演プログラム校正について
- 全国大会における液晶プロジェクターの利用について
- 平成 28 年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集
- WEB 掲載の溶接学会論文集 34 巻 (平成 28 年度) の印刷物の購入について
- 「先進観察技術活用研究会」アドホック研究会 会員募集
- 国際溶接学会 (IIW) 2016 年次大会 (第 69 回) のご案内

## 10<sup>th</sup> International Conference on Trends in Welding Research & 9<sup>th</sup> International Welding Symposium of Japan Welding Society (9WS)

**October 11-14, 2016**  
**Hitotsubashi Hall, Tokyo, JAPAN**  
<http://trends2016.org/>

### Organizing Societies

- American Welding Society (AWS)
- Japan Welding Society (JWS)

### Conference Co-chairs

- Toshihiko Koseki, The University of Tokyo, Japan
- Stan David, Oak Ridge National Laboratory, USA
- Tarasankar DebRoy, Penn State University, USA
- Thomas J. Lienert, Los Alamos National Laboratory, USA
- Akio Hirose, Osaka University, Japan

### Welcome to Tokyo in 2016

The 10<sup>th</sup> International Conference on Trends in Welding Research will be held from October 11 to 14, 2016, in Tokyo, Japan, for the first time outside of USA. The conference covers not only the fundamental science of welding and joining but a wide variety of applications of welding and joining different materials in different industries, which include various approaches of theoretical analysis, experiments and numerical simulations. Also, the conference aims to provide a wonderful opportunity of technical discussions, having leading welding and joining scientists and engineers from all over the world. The 9<sup>th</sup> International Welding Symposium of Japan Welding Society will be jointly held during

the conference. So, we cordially invite you to the conference and hope that you will enjoy the technical discussions at the conference and also the best season of Japan.

### Topics to be Covered

- Fundamentals and applications of welding and joining processes
- Microstructure and metallurgical behaviors in welds
- Weldability of different materials
- Weld properties and performances
- Residual stress and distortion in weldments
- Monitoring, sensing and controls of welding
- Testing and inspections for weld integrity
- Welding practices in industries
- Modeling and simulation of weld behaviors

### Important Dates

- March 31, 2016      Abstract Submission
- June 30, 2016      Full Paper Submission
- May 31, 2016      Pre-registration (Early)
- September 2, 2016      Pre-registration (Regular)

### For More Information

Visit the following website, <http://trends2016.org/>

### For Contact

Trends2016 Secretariat:  
 Mita MT Bldg. 8F, 3-13-12 Mita, Minato-ku, Tokyo 108-0073, Japan  
 E-mail: [twr2016@issjp.com](mailto:twr2016@issjp.com)

## ● 会員専用ページ「マイページ」の開設について

溶接学会の個人会員各位には、7月初旬に「会員専用ページに関する重要なお願い」を郵送させていただいています。必ずご一読ください。

このたび溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員各位を対象とした会員専用ページ「マイページ」を新たに開設いたしました。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、郵送のマニュアル「初回ログイン時にしていただくこと」をご参考に、マイページにアクセスしていただき、下記の操作（約5～10分）をお願いいたします。

- ①ログイン → ②会員情報確認・変更 → ③パスワード変更 → ④マイページ内の完了ボタン（会員情報等変更の有無にかかわらず必ず押してください）

必ず押してください）

なお、マイページの URL は、[member.jweld.jp/mypage](http://member.jweld.jp/mypage) ですが、溶接学会 HP からログインできます。

会員番号とパスワードは、大切にお控えください。

また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスを必ずマイページにご登録ください。

（マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください）

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## ● 一般社団法人溶接学会第84回通常総会並びに平成28年度春季全国大会開催通知

第84回通常総会並びに平成28年度春季全国大会を下記の通り開催いたします。

### 【第84回通常総会】

- 日 時：平成28年4月13日（水）10:15～12:00（予定）  
場 所：ATC（アジア太平洋トレードセンター）O's 南6階  
議 題：平成27年度事業報告、平成27年度決算報告、  
（報告）平成28年度事業計画、平成28年度収支予算

### 【平成28年度春季全国大会】

- 期 日：平成28年4月12日（火）、13日（水）、14日（木）  
場 所：ATC（アジア太平洋トレードセンター）O's 南6階  
講演会プログラムはホームページに掲載いたします。  
<http://jweld.jp/index.html>  
全国大会参加費：（概要ダウンロード権を含む）  
正員・賛助員 10,000 円（不課税） 学生員 5,000 円（不課税）  
非会員（学生）10,000 円（税込） 非会員（学生以外）20,000 円（税込）

## ● 平成28年度溶接学会春季全国大会シンポジウムのご案内

1.主 題：「SIP 革新的構造材料プロジェクト：マテリアルズインテグレーションにおける溶接・接合技術の展開」

2.座 長：田中 学（大阪大学）

3.日 時：平成28年4月12日（火）14:15～17:00

4.場 所：アジア太平洋トレードセンター（ATC ホール）  
O's 南6階 全国大会第1会場  
大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10

### 5.講演プログラム

- (1) マテリアルズインテグレーションシステム（60分）  
「マテリアルズインテグレーション（MI）システム開発のプロジェクト概要」  
東京大学 ○小関敏彦  
「MI プロジェクトにおける組織予測システムの開発」  
東京大学 ○糟谷 正

「MI プロジェクトにおける性能予測システムの開発」  
東京大学 ○榎 学

休憩（15分）

- (2) 溶接部性能保証のためのシミュレーション技術の開発（60分）  
「溶接部性能保証のためのシミュレーション技術の開発プロジェクトの研究概要」  
大阪大学 ○廣瀬明夫  
「溶接熱源のモデル化とそれによる溶融池形成予測技術の開発」  
大阪大学 ○浅井 知  
「凝固・組織変化を伴う溶接部の特性予測技術の開発」  
大阪大学 ○才田一幸  
「溶接継手の性能予測技術の開発」  
大阪大学 ○大畑 充

(3) 総合討論（30分）

## 溶接学会全国大会講演概要のデジタル化のお知らせ

### 1. 全国大会講演概要がデジタル化されました

平成 27 年度春季全国大会より全国大会講演概要がデジタル化されました。全国大会運営委員会では、学会員の皆さんにとって魅力のある全国大会を目指し、議論を重ねて参りました。その第一弾は、平成 25 年度秋季大会より開始しました「ポスターセッション」です。また、続く第二弾は、平成 26 年度春季大会より開始しました「優秀な口頭発表に対するエクスプレス投稿の特典贈呈」です。そして、今回、第三弾として、講演概要のデジタル化を実施いたしました。

タブレット端末やスマホなどモバイルツールが普及する今日、何時でも何処でも気軽に講演概要の内容をチェックしていただけるとともに、図表がカラーとなりますので、より一層、内容の理解も容易に深まるものと思います。

全国大会運営委員会では、「いいね！全国大会」をスローガンに、新たに第四弾、第五弾の魅力あるサービスを考えて参りたいと思います。デジタル化に伴い講演概要の取り扱い、講演概要の配布方法、全国大会参加登録方法が変わりましたので、以下にご案内申し上げます。

### 2. デジタル講演概要の配布方法

配布方法はホームページからのダウンロードのみとなります。従前の冊子など印刷物としての配布は廃止いたしました。ダウンロードができる期間は、全国大会開催の 1 ヶ月前から J-Stage 公開日迄です。

●**会員、賛助会員** 後述の全国大会参加登録を完了いただいた際に、デジタル講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail でお知らせします。

●**非会員** 後述の全国大会参加登録を完了いただいた際に、抄録集のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail で送付します。講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードは、全国大会会場での受付の際にお知らせします。

### 3. 平成 28 年度春季全国大会 参加登録期間

平成 28 年 3 月 14 日（月）14：00～全国大会当日

### 4. 参加登録

<http://www.jweld.jp/>

登録の際に「**会員番号**」が必要です。事前にご確認の上、お手元にあらかじめご用意ください。

会員番号は溶接学会誌送付状宛名欄に記載されている 7 桁の数字です。

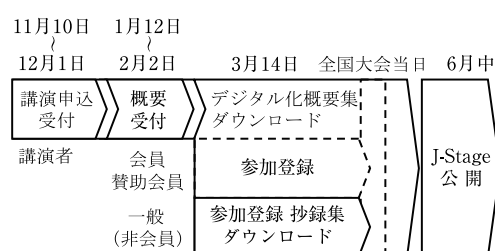
### 5. 参加登録方法

参加登録は事前に上記ホームページで行ってください。概要集のデジタル化に伴い、参加費に講演概要の閲覧・取得も含まれるようになりました。従前のように、参加費と講演概要購入費が別々

になっておりませんので、ご注意ください。参加費は、正員・賛助員 10,000 円、学生員 5,000 円、非会員（一般）20,000 円、非会員（学生）10,000 円です。従前の参加費と講演概要購入費の合計金額よりも割安になってお得になりました（非会員を除く）。

参加費の支払い方法につきましては、従前どおりです。全国大会開催中の受付で現金のみの支払いとなります。また、参加登録後の取消しは認めません。参加登録後、諸事情にて大会会場に会場できない場合には、代理の方に参加費の支払いをしていただくか、後日、学会へ直接お支払いいただくこととなります。なお、講演者は、講演登録と同時に自動的に参加登録を行った扱いとなりますので、別途、参加登録は不要です。講演概要が公開された際にデジタル講演概要のダウンロードサイトのホームページアドレスとパスワードを E-mail でお知らせします。

以下にデジタル化に伴う参加登録、講演概要ダウンロード、J-Stage 公開までの時間的な流れを図示しました。



<<< ご注意ください!! >>>>

#### ●紙書籍の全国大会講演概要は発行しません

デジタル化に伴い、紙書籍の講演概要は発行いたしません。また、全国大会会場での印刷サービスはございませんので、紙面への印刷は予めご自身でご用意ください。

(大会終了後、希望者へ別売にて印刷版講演概要を販売予定です。ご希望される方は、下記会告「平成 28 年度春季全国大会講演概要の頒布について」をご参照ください)

#### ●会場でのインターネット接続サービスはありません

会場でインターネット接続をご希望の方は、モバイル通信が可能な携帯端末などをご自身でご用意ください。会場にお越しになる前にデジタル講演概要をダウンロードし、携行するパソコン、タブレット端末、スマホなどに保存されるか、またはご自身で印刷してご持参されることを推奨します。

#### ●講演概要の閲覧のみのサービスは提供しておりません

講演概要のダウンロードサイトでの事前閲覧および全国大会当日の閲覧は、全国大会の参加登録を行った方々のみ可能となります。すべての講演概要は大会終了 2 ヶ月後以降 J-Stage で一般公開されますので、全国大会に参加しない方々は J-Stage を利用して講演概要を閲覧ください。

\*J-Stage：独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が運営する総合学術電子ジャーナルサイト

## 平成28年度春季全国大会講演概要の頒布について

平成27年度春季全国大会より講演概要はデジタル化され、配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従来のような大会前、大会当日の販売は廃止いたしました。

ただし、印刷版の全国大会講演概要は大会終了後、希望者へ別売にて提供させていただきます。

購入を希望される方は下記要領にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

平成28年度春季全国大会講演概要

価格：12,000円（税・送料込）

発送時期：平成28年6月下旬頃

### 【申込方法】

「書籍名」「ご連絡先」「お名前」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申し込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 全国大会運営委員会 宛

F A X : 03-5825-4331

申込締切：平成28年4月28日（木）

入金締切：平成28年5月31日（火）

なお、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

## 平成28年度秋季全国大会「研究発表」講演募集

平成28年度秋季全国大会を下記のとおり開催いたしますので、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

申込及び原稿提出は、インターネット利用のみとなります。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、英文）、講演プログラム校正、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

また、原稿締切から概要発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら講演をお断りすることになりますのであらかじめご了承ください。



開催期日：平成28年9月14日（水）、15日（木）、16日（金）

開催場所：伊香保温泉（群馬県）HOTEL 天坊

### —講演申込募集—

1. 申込期間：平成28年4月25日（月）12:00～  
平成28年5月23日（月）14:00
2. 講演資格：講演者は正員（学生員も認める）でなければなりません。共著者はその限りではありません。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は2報までですご注意ください。  
◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。送金は銀行振込でお願いいたします（振込口座は申込受付時にメール送信いたします）。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。

※大会参加費は下記料金を大会当日、現金にてお支払い下さい。

（円）

会 員 区 分		講演登録料	大会参加費 (講演概要の閲覧・取得を含む)
個人会員	正 員	8,000円（税込）	10,000円（不課税）
	学生員		5,000円（不課税）
賛 助 員		発表不可	10,000円（不課税）
非 会 員	学生以外	発表不可	20,000円（税 込）
	学 生		10,000円（税 込）

### 4. 原稿（PDF）提出期間：

平成28年6月23日（木）12:00～7月14日（木）14:00

5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。

6. 発表時間：講演10分、討論5分

7. 講演申込の確認：申込を受けますとただちに受付番号を送信いたします。

### 8. 講演申込の取り消しについて

講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。

（注意事項）

- ①講演概要のデジタル化に伴い全ての一般講演は、大会1ヶ月前にWEB公開されます。また、大会終了の2ヶ月後にJ-Stageで公開されます。講演概要への非掲載やJ-Stageでの非公開を希望する講演はいっさい受付いたしません。
- ②上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと受付システムの利用は不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。
- ③原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイルサイズの上限は、3MBです。  
PDF原稿を作成する際は、PDFをプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。  
また、原稿提出期間後の原稿差し換えはいっさい受付いたしませんので、提出前にあらかじめ確認してください。
- ④PDF原稿提出時に申込時の受付番号とパスワードが必要になりますので忘れずに保管してください。

## 平成28年度秋季全国大会ポスター発表募集

### — 溶接学会員のみなさん、 学界、業界を問わず奮ってご参加ください —

- ポスターセッションは Plenary で行い、多くの参加者とディスカッションが可能
- 35 歳以下の研究者を対象とした優秀ポスター発表賞を溶接学会会長名で表彰
- 表彰者を学会誌「溶接学会誌」に紹介

当学会では、多くの研究者の方々に講演大会でのディスカッションの機会を提供するために、ポスターセッションを開催します。実施方法は以下の通りです。

開催期日：平成 28 年 9 月 14 日（水）（全国大会 1 日目）（予定）  
開催場所：伊香保温泉（群馬県）HOTEL 天坊

#### — 発表申込募集 —

1. 申込期間：平成 28 年 4 月 25 日（月）12：00～7月14 日（木）14：00（一般講演とは申込期間が異なります）  
ただし、会場の制約により、申込数が既定数（50 件程度を予定）に達した場合は期限までに締め切る可能性があります。
2. 発表資格：発表者は会員（正会員、学生員）であること。年齢制限はありませんが、優秀ポスター発表賞の審査対象は 35 歳以下の発表者となります。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込みください。一般講演と同じ内容で発表される場合は、講演と同時申込みが可能です。お申し込みの際に、次の項目が必要となりますので、事前にご準備ください。  
（ア）連絡者情報（氏名・ふりがな、所属、郵便番号、住所、電話番号、E-mail アドレス）  
（イ）発表情報（日本語題目、英語題目）

（ウ）発表者情報（日本語氏名・ふりがな、英語氏名、所属、会員番号）

（エ）要旨（全角 140 字以内）およびキーワード

4. 発表概要原稿：特にご準備いただくことはありませんが、上記 3 のうち、題目、発表者情報（氏名と所属）、キーワード、要旨をポスターセッション概要として全国大会講演概要集に掲載（WEB 公開）いたします。
5. ポスター発表登録料：8,000 円（税込）（ただし、同一内容にて一般講演での発表登録もした方は講演登録料 8,000 円のみのお支払い）
6. 発表申込みの確認：申込みを受け付けますとただちに受付番号を発行し、送信いたします。ただし、既定数（50 件程度を予定）に達した場合は、ポスター発表のみでお申込の方を優先して受付いたします。申込期間終了後に発表の可否をあらためて通知いたしますのでご了承ください。
7. 発表申込みの取り消しについて：申込み後ただちにプログラム編成と概要集作成を行います。後での取り消しは他の発表者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んでください。発表申込みが取り消されても登録料は返却いたしませんのでご了承ください。

#### — 発表方法 —

1. 発表時間：Plenary のポスターセッションは 2 時間程度です。詳細は大会プログラムに記載されます。
2. ポスター形式：ポスターのサイズは受付後に別途ご連絡いたします。なお、ポスターボードの前には、原則、机は置けません。
3. ポスターの展示：大会 1 日目のお昼休み終了時までにプログラムに記載されたポスター番号のボードに展示してください。また、Plenary ポスターセッション終了時にポスターを撤去してください。

# 溶接学会全国大会講演分類

- ・講演エントリー時に、下記の4分類から1つずつご選択ください。
- ・適当な分類がない場合は、「\*-0 該当なし」をご選択ください。

第0分類 既成セッション		第1分類 技術分野		第2分類 プロセス		第3分類 対象材料	
0-0	該当なし	1-0	該当なし	2-0	該当なし	3-0	該当なし
0-1	オーガナイズドセッション	1-1	溶接・加工方法および一般的特性	2-1	アーク溶接	3-1	鉄鋼
		1-1-1	溶接・加工方法	2-1-1	ガスシールドアーク溶接	3-1-1	低炭素鋼・低合金鋼
0-2	溶接冶金	1-1-2	溶接・加工条件の影響	2-1-2	被覆アーク溶接	3-1-2	高張力鋼(薄板)
0-3	溶接法	1-1-3	溶接・加工結果の総括(溶込み特性など)	2-1-3	サブマージアーク溶接	3-1-3	高張力鋼(厚板)
0-4	継手強度	1-1-4	その他溶接・加工の諸特性	2-1-4	プラズマ溶接	3-1-4	耐熱鋼・耐食鋼
0-5	溶接残留応力			2-1-5	アーク複合溶接	3-1-5	高炭素鋼・高合金鋼
0-6	溶接変形	1-2	冶金的安全性	2-1-6	その他のアーク溶接	3-1-6	ステンレス鋼
0-7	破壊	1-2-1	ミクロ組織			3-1-7	その他の鉄鋼
0-8	疲労	1-2-2	割れ(凝固割れ、低温割れなど)	2-2	抵抗溶接・圧接		
0-9	界面現象	1-2-3	耐食性・耐環境性	2-2-1	スポット溶接	3-2	非鉄金属
0-10	アーク物理	1-2-4	その他冶金的安全性	2-2-2	シーム溶接	3-2-1	アルミ・アルミ合金
				2-2-3	摩擦圧接	3-2-2	銅
0-11	アーク溶接	1-3	機械的特性	2-2-4	その他抵抗溶接・圧接	3-2-3	Ti・Ti合金など活性金属
0-12	レーザー溶接	1-3-1	溶接・接合継手の静的強度			3-2-4	Ni・Coおよびその合金
0-13	レーザーハイブリッド溶接	1-3-2	溶接・接合継手の疲労強度	2-3	高エネルギービーム溶接	3-2-5	Mg・Mg合金など軽金属
0-14	レーザー切断・加工	1-3-3	溶接・接合部の歪・残留応力	2-3-1	レーザー溶接	3-2-6	その他の非鉄金属
0-15	レーザー表面加工	1-3-4	溶接・接合部の破壊じん性・挙動	2-3-2	レーザー複合溶接		
0-16	抵抗スポット溶接	1-3-5	溶接・接合部のクリープ特性・環境強度	2-3-3	電子ビーム溶接	3-3	非金属
0-17	抵抗溶接	1-3-6	溶接・接合部の寿命・LCC・リサイクル	2-3-4	その他のビーム溶接	3-3-1	樹脂
0-18	ろう接・はんだ	1-3-7	溶接・接合以外加工部の諸特性			3-3-2	セラミック
0-19	摩擦攪拌接合(FSW)			2-4	その他融接	3-3-3	その他の非金属材料
0-20	摩擦攪拌点接合(FSSW)	1-4	計測・センシング	2-4	その他の融接		
0-21	摩擦圧接	1-4-1	溶接・加工中の現象観察			3-4	異材接合
0-22	圧接	1-4-2	溶接・加工中の計測	2-5	ろう接・固相接合	3-4-1	鉄鋼／非鉄金属
0-23	固相接合	1-4-3	溶接・加工部の分析・計測	2-5-1	ろう接	3-4-2	鉄鋼／非鉄金属
0-24	超音波接合	1-4-4	溶接・加工部の非破壊検査	2-5-2	拡散接合	3-4-3	非鉄金属／非金属
0-25	マイクロ接合	1-4-5	インプロセス制御・オンライン品質管理	2-5-3	摩擦攪拌接合(FSW)	3-4-4	その他の異材組合せ
0-26	異材接合			2-5-4	摩擦攪拌点接合(FSSW)		
		1-5	解析・シミュレーション	2-5-5	その他ろう接・固相接合	3-5	特殊材料
0-27	表面改質・クラディング・積層	1-5-1	熱・温度分布の解析			3-5-1	薄膜
0-28	フォーミング	1-5-2	歪・残留応力の解析	2-6	接着・機械接合	3-5-2	粉体
0-29	ピーニング	1-5-3	加工現象のシミュレーション	2-6-1	接着	3-5-3	その他の特殊材料
0-30	応力計測	1-5-4	組織・材質予測	2-6-2	リベット・ピアシングリベット		
0-31	センサ・制御	1-5-5	継手強度・性能予測	2-6-3	かしめ・クリンチング		
				2-6-4	その他接着・機械接合		
		1-6	システム設計・開発				
		1-6-1	加工システム・機器	2-7	その他接合		
		1-6-2	生産システム・工程管理	2-7	その他の接合方法		
		1-6-3	品質保証				
		1-6-4	安全・衛生・教育	2-8	表面加工・積層		
				2-8-1	表面焼入れ・熱処理		
				2-8-2	クラディング・合金化		
				2-8-3	積層造形		
				2-8-4	表面微細加工		
				2-8-5	その他表面加工・積層		
				2-9	切断・除去		
				2-9-1	熱切断		
				2-9-2	割断・溝加工		
				2-9-3	穴あけ		
				2-9-4	アブレーション		
				2-10	その他加工		
				2-10	その他の加工		

## 全国大会講演概要原稿執筆要領 — PDF原稿のみとなります。 —

概要原稿（テンプレート）が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は、提出された原稿をそのまま WEB 公開しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

### 1. 原稿用紙

本会所定（又は、指定フォーマット）のものに限ります。

1 ページ目は、題目、勤務先（研究場所）、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙（A）を使用してください。

### 2. 原稿の長さ

題目（和英両文）、勤務先、著者名（和英両文）、キーワード（和英両文）本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚（A, B）にできるだけ余白を残さず書いてください。

字数は、40 字×37 行×2 枚=2,960 字（タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字）です。

### 3. 原稿の書き方

#### イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙（A）の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

（副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないように記載して下さい）

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労

Keywords: arc, plasma, physics

### ロ. 本文

原稿用紙（A）12 行目から（B）いっぱい原稿用紙のコマに合わせて黒色で書いてください。また、用紙の枠いっぱいコマ数（40 字×37 行）だけ打ってください。（全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません）文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意願います。

### ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、関連する本文の近い場所に貼付してください。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意願います。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明（Caption）は英文で書いてください。（写真は Photo でなく Fig. としてください）

### 4. 校正

校正は（著者、編集者とも）いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

### 5. 原稿の提出

提出期間内に PDF（原稿）を学会ホームページよりアップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

〔原稿見本〕

12pt, 明朝体  
プラズマ溶接の研究

10.5pt 日本工科大学 ○秋山 冬彦  
世界電機 夏川 春樹

10.5pt  
Study on Plasma Welding

10.5pt by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労 Keywords: arc, plasma, physics

本文（12行目から）→  
本研究は、プラズマジェットを用いる溶接法について……

↑  
1~2 字アケル

## Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and published as “Preprint of the National Meeting of JWS”.

### 1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

### 2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

### 3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A.

Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

### 4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

## PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE

PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering

Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

### INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major fact

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.



## 全国大会講演プログラム校正について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

ホームページ上で大会プログラムの校正刷りを公開しますので、ご確認のほどお願いいたします。

### 記

#### 1. 校正開示

大会プログラムの版下が完成後、講演者宛に E メールにてご通知いたします。(校正刷りの郵送はいたしません。) 万一事故等により E メールが未着の場合にも、6 月下旬には開示いたしますのでご利用ください。

また、正式プログラム公開後の修正はいたしませんのでご留意ください。

#### 2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー、バージョン 4.0 以上(ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応)

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダー バージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yoasetu>

#### 4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-5825-4331) にて送信ください。E メールでの送信はご遠慮ください。

#### 5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: [kobayasi@jpp.co.jp](mailto:kobayasi@jpp.co.jp)

## 全国大会における液晶プロジェクターの利用について

全国大会運営委員会

全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守ください。

なお、パソコンは、発表者が各自ご持参ください。

### 記

全国大会運営委員会で準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ

発表者の準備するもの

- 1) パソコン
- 2) パワーポイントで作成した発表用のファイル

※休憩時間の間にパソコンの動作確認をしてください。

※講演中の操作は講演者側でお願いします。

## 平成28年度秋季全国大会フォーラム講演論文募集

主 題：レーザー加工における基礎・応用の現状と次世代技術

座 長：川人洋介（大阪大学接合科学研究所）

村田隆行（川崎重工(株) システム技術開発センター）

本田博史（国立研究開発法人物質・材料研究機構

先進高温材料ユニット）

日 時：平成 28 年 9 月 15 日(木) 13:00~17:00 (詳細未定)

場 所：伊香保温泉（群馬県）HOTEL 天坊

（群馬県渋川市伊香保町 396-20）

### 趣 旨：

高密度エネルギー加工の代表のひとつであるレーザー加工を取り巻くものづくりの環境は、環境問題やグローバル化によって劇的な変化している。さらに Industry4.0 等の新潮流による変化も予想される。特に、3D プリンタやレーザー肉盛り溶接（指向性エネルギー堆積）を含む Adaptive manufacturing による生産革新は大きな関心事項である。また、レーザー加工は、各種加工法のなかで、システム化・ロボット化・自動化・省力化が容易であることから、自動車をはじめ各種産業分野において利用が拡大している。このような背景から、レーザー加工は次世代の日本のものづくりの基盤技術や最先端技術を担うことが期待されている。そこでは、光と物質の相互作用にフォーカスをあて、従来の光の熱的な相互作用

の効率的な利用だけでなく、光の物理・化学的作用を取り込んだ革新的な加工原理の研究開発が重要となる。

本フォーラムでは、今後の溶接工学・接合科学におけるレーザー加工のイノベーションとものづくりの更なる展開・発展を計るため、レーザーとその周辺機器、レーザー加工の研究開発状況と応用例、実用化の動向などについて幅広くお互いに紹介し合い、今後の応用展開に向けて情報交換・意見交換を行う場としたい。

### 申込方法：

著者名、タイトル、概要（200 字程度）、所属、連絡先を明記した上、メール ([jws-ym@kt.rim.or.jp](mailto:jws-ym@kt.rim.or.jp)) またはファックス (03-5825-4331) にて、溶接学会事務局へお申し込み下さい。

申込締切日：平成 28 年 3 月 22 日（火）

### 講演採否：

お申し込まいただいた講演の採否は直接申込者にお知らせ致します。

原稿締切日：平成 28 年 7 月 7 日（木）

（採択された講演者には、所定の書式に従って作成した原稿を、締切日迄に提出していただきます。提出いただいた原稿は、溶接学会全国大会講演概要集（WEB 版）に掲載致します。なお、講演時間は、1 件約 20 分～30 分程度を予定しています。原稿作成方法などの詳細は座長より連絡致します。）

## WEB掲載の溶接学会論文集34巻(平成28年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成28年11月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 34巻(平成28年度)

**価 格**：溶接学会会員特価 7,500円/年1冊(外税)  
**送 料**：500円(外税)  
**発行時期**：平成29年1月下旬頃  
**送 付 先**：学会誌発送登録先

### 【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成28年11月30日

入金締切：平成28年12月31日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社(TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815)へ直接ご注文下さい。

定価 15,500円/冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切：平成29年3月31日

## 「先進観察技術活用研究会」アドホック研究会 会員募集

### 1. 趣 旨

近年の観察技術の進歩は著しく、特に従来困難であったスケールもしくは時分割で、多くの情報を取得することが可能となっています。量子ビーム(放射光・中性子)施設の一般ユーザの利用、ハイスピードカメラによる二次元温度測定、マイクロスケールでの結晶方位解析などが、その良い例です。しかしながら、これら先進観察技術へのファーストコンタクトを提供する機会は決して多いとはいえず、コーディネータ的役割をする機会が必要となっています。本研究会はその機会を供給する、つまり研究会参加者と各施設・装置関係者をつなぐ役割を目指し、溶接学会員の研究力のさらなる向上に資することを目的としています。

そのため、研究会幹事には、量子ビーム施設関係者や、二次元温度測定のエキスパートにご参加いただき、上記意図に沿った企画の実施にご協力いただく段取りとなっております。先進観察技術と溶接学会員をつなぐ中継拠点として機能することを目指します。

### 2. 内 容

放射光施設、中性子施設の利用促進部等と連携し、利用計画・申請・準備等に関する具体的な方法論を身につける、また実施例を勉強するためのセミナーを開くことを予定しています。また、ハイスピードカメラによる二次元温度測定(溶接プロセス観察)デモに関するセミナーも企画しています。

本研究会は、関連セミナーの紹介、セミナー企画、研究相談拠点の設置、を通じて、研究会委員の先進観察技術活用を可能な限り支援、継続的な関係構築をサポート致します。

平成28年2月1日には、研究会活動第一弾として、SPring-8利

用推進協議会 研究開発委員会主催の第11回金属材料評価研究会の協賛を行います。

### 3. 研究期間

平成28年1月～平成28年12月

### 4. 組 織

主査：寺崎 秀紀(熊本大学) 副査：瀬川 啓久(鹿児島県工業技術センター)

幹事：小溝 裕一(高輝度光科学研究センター)、篠原 武尚(日本原子力研究開発機構)、菅蒲 敬久(日本原子力研究開発機構)、山本 元道(広島大学)。

委員：浅井 知(阪大)、大畑 充(阪大)、梶原 堅太郎(高輝度光科学研究センター)、上月 渉平(JFE)、佐藤 裕(東北大)、佐野 智一(阪大)、田中 学(阪大接合研)、中西 省太(IHI)、西川 宏(阪大接合研)、松田昇一(琉大)、望月 正人(阪大)

### 5. 参加資格

・溶接学会員である方が望ましい

### 6. 申込方法

氏名・所属・部署・署名・連絡先(住所・TEL・E-mail)・専門分野を記載し、電子メールにて下記までご連絡ください。

寺崎秀紀(熊本大学大学院自然科学研究科 教授)

E-mail: terasaki@mech.kumamoto-u.ac.jp

## 国際溶接学会 (IIW) 2016年次大会 (第69回) のご案内

本年度 IIW 年次大会が下記のとおり開催されますのでご案内いたします。

日本からの参加者は、IIW 加盟団体である日本溶接会議 (JIW) の参加承認を受けてください。JIW は溶接学会並びに日本溶接協会にて構成されており、参加には両学協会の会員であることが必要です。

IIW への参加登録申込みは、直接 <http://www.iiw2016.com/> にアクセスし、ご登録下さい。

IIW への参加登録と同時に、JIW 宛申込用紙を、JIW 事務局宛お送りください。(JIW 宛申込用紙は、溶接学会ホームページから入手できます。)

なお、IIW 参加費とは別に下記の「JIW 参加費」が必要です。(ただし、IIW 役員・委員長、Delegate、学生は免除されます。)

**JIW 参加費：**中立機関 ¥10,000, 企業 ¥30,000

**会 場：**メルボルン (オーストラリア)

**会 期：**2016 年 7 月 10 日(日)~7 月 15 日(金)

公開研究集会(International Conference)

主題

「From Concept to Decommissioning – The Total Life Cycle of Welded Components」(7 月 14 日~15 日)

**JIW 事務局：**一般社団法人溶接学会内 担当 石丸

E-mail: [ishimaru@tg.rim.or.jp](mailto:ishimaru@tg.rim.or.jp)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-20

TEL : 03-5825-4073

FAX : 03-5825-4331

### 平成 26・27 年度編集委員

(委員長) 佐藤 嘉洋 (副委員長) 才田 一幸

(委員) 青木 篤人, 石崎 圭人, 池上 祐一, 池田 倫正, 伊藤 和博, 猪瀬幸太郎, 江口 法孝, 尾花 健, 茅野 林造, 萱森 陽一, 桐原 聡秀, 栗原 繁, 柴原 正和, 中谷 光良, 西川 宏, 廣田 幸伯, 藤井 啓道, 富士本博紀, 三瓶 和久, 南 秀幸, 迎井 直樹, 妻鹿 雅彦, 森 裕章, 山本 元道

### 溶接学会誌 第 85 巻 第 2 号

平成 28 年 3 月 1 日 印刷

平成 28 年 3 月 5 日 発行

編集兼発行者 石丸 賢 二  
東京都千代田区神田佐久間町 4 丁目 20 番地

印刷者 日本印刷出版株式会社  
大阪市福島区吉野 1 の 2 の 7

発行所 一般社団法人 溶接学会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4 丁目 20 番地

電話 03 (5825) 4073

FAX 03 (5825) 4331

振替口座 00180-7-143434 番

ホームページ <http://jweld.jp/>